

5月の 広島中央保健生活協同組合だより

けんこう

2023年
5月号

No.595

広島中央保健生活協同組合

編集部連絡先
〒733-0031 広島市西区観音町16-19
電話(082)-532-1264
FAX(082)-532-1267

アドレス <http://www.hch.coop/>
Facebook 「広島中央保健生活協同組合」

2023年3月31日現在

組合員数 29,440人
出資金 12億5,679万円
発行責任者 生協広報委員会

グループワークで大盛り上がり!!
しゃべって学んで100歳を目指そう!!
第25回健康づくりり学会

3月17日(金)、第25回健康づくりり学会を開催しました。参加者は34名でした。

最初に健診センター岡村科長より、「元気に100歳を迎えるために」の講演がありました。健康寿命を延ばすポイントには食事・運動・聞く・噛む・コミュニケーション。

健康維持に一番重要なのは「続けること」もっといえば、「続けられること」です。人によって健康の感じ方や、効果を感じられる習慣は違います。

自身にあった習慣を、「笑いながら」「楽しみながら」生活の中に取り入れることが大切だと学びました。

その後、安芸中央、美鈴が丘、福島の3支部より支部活動の報告、生協くさつ24の職員2名より、事業所の活動と取り組みについて紹介がありました。

特に盛り上がったのが、今回初めて実施したグループワークでした。異なる支部に所属する組合員さんで7つのグループを組み、講演の感想や、それぞれの普段の支部活動、健康づくりのための取り組みについて話し合いました。

今まであまり関わることの無かった支部の組合員さん同士で話が弾み、「うちの班ではいつもこんなことをしています」「その活動すごく楽しそう!」といった声をたくさん聞くことができました。今後の支部活動の発展につながっていきそうです。



法人理念

ともにいのちを大切にし、みんなが健康で安心して暮らせる社会をつくりまします。

取り組み方針

1. 安心・安全な医療・介護・福祉の事業に取り組みまします。
2. 協同の力で、安心して暮らせるまちづくりに取り組みまします。
3. 憲法を守り、平和を守る運動に取り組みまします。

フレッシュな26人が入職しました!

2023年4月1日(土)、生協けんこうプラザにて、広島中央保健生活協同組合を担っていく新職員の入職式が行われました。

新たに迎えた26名の職員は、地域の組合員との協同により、生協の事業と運動を飛躍させる原動力となっていきます。

入職式を終えると、オリエンテーションが始まります。社会人としての基本マナー、医療安全対策や院内感染防止のポイントなどについて、2日にわたって学びました。

今年度は自己紹介&交流タイムを設けました。自己紹介の時は緊張していましたが、そのあとの交流タイムではどのグループも盛り上がり、同期同士、貴重な時間となったのではないかと思います。



組合員のみならず、よろしくお願ひします!



演題発表

学習講演	
元気に100歳を迎えるために	福島生協病院健診センター 保健師 岡村明日香
支部発表	
無理しないことが続けるコツです ～水中ウォーキング～	安芸中央支部 水中ウォーキング班
まちかど健康チェック	美鈴が丘支部
みんなで楽しくピンポンから卓球へ	福島支部 副支部長 菊崎暁子
事業所発表	
生協くさつ24の活動と取り組み	生協くさつ24 山下栄子 山田文則

心の窓

精神と肉体がともに健康であることはなかなか難しいと言われていますが、組合員のみならず、それぞれが自身の健康法をお持ちだと思えます。長年、次のような健康法で私はこの3月、80歳を迎えました。

具体的が一番貢献しているのは、生協歯科での3カ月に1回の定期健診です。若い頃は、あまり歯の大切さを意識することなく、不具合が起これば近所の歯科にかかる程度でした。が、生協歯科で歯の管理について学び、おかげさまで2本欠けるのみで現在に至っています。なんとか最後までこの状態を保てればと思っています。

精神的ストレス発散の手段は20歳頃始めたテニスと、30代半ばで出会った溪流釣りでです。テニスはあまり上手にはなりませんが、現在も私が立ち上げたサークルで毎週十数人集まって楽しんでいます。

この年齢であと何年できるかわかりませんが、もう少し楽しもうと思えます。溪流釣りは私の中では一番大事なものの一つとなりました。細見谷溪谷というブナ林に囲まれた大田川源流域に一人で入り、山女魚や岩魚とたわむれ、水の音に癒され、また日常にかえることができました。

残念ながらこの年齢で水の中を歩くことが危険をともなうようになり、家族からもストップがかかり、細見谷溪谷に感謝しながら別れを告げるようになりました。

今のところ、これに替わるものには出会えそうにはありませんが、80歳からの新たな出会いに期待したいと思えます。

もうちゃん

6月17日開催予定の第68回通常総代会に提案する「2023年度の重点課題と2022年度の活動の特徴」第一号議案と「第7次長期計画」(第四号議案)の素案を、組合員のみなさまのご意見をいただくために掲載します。組合員活動推進課まで是非、ご意見をお寄せください。

1. 2023年度の広島中央保健生協重点課題(案)

協同の力で、誰もが健康で 居心地よくくらせる まちをつくりまします

1.ひとりとりの多様な健康観を大切に、ゆるやかなつながりを広げながら、地域まるごと健康づくりをすすめます。

①引き続き感染予防を行いながら、班会やサロン、子育て応援の取り組みなど、地域の活動を継続します。様々なつながりを工夫し、途切れないつながりづくりをすすめます。

②地域に開かれた居場所づくり。各支部で取り組みます。支部の集まりや班会に活用するともに、居場所を拠点として多世代での交流をすすめます。

③訪問行動を通じて、地域の困りごとに応える体制づくりをすすめます。

④班会や支部の集まりの中でのフレイル予防やオーラルフレイル予防に取り組みます。「ステップアップ!すこしお」の学習をすすめ、料理教室にも取り組みます。「青空健康チェック」も、地域の健康づくりの場として再開します。

⑤行政が進める健康づくりの取り組みとの連携を強めます。

「けんこうチャレンジ」を多くの組合員に広げ、健康寿命の延伸に寄与するとともに、学童期への健康講座を通じて、より幅広い層で取り組む健康づくりをすすめます。

⑥地域の課題解決のため、協同組合やその他多様な団体とも連携し、健康づくりやまちづくりに取り組みます。



2. 協同の力で事業の質を向上させ、くらしの安心と満足度を高めます。

①広島中央保健生協の2030年ビジョン「くらし」に取り組みます。第7次長期計画の初年度として、第7次長期計画で掲げた取り組みをスタートさせ、5年後への道筋を立てます。

②ISO9001の取り組みを継続しながら、地域組合員と職員組合員の協同で事業の質を高め、地域から求められる事業所とともに作りまします。「まず診る」「断らない」医療・介護の実践に努め、事業収益(2022年度比105.8%)及び事業費用(2022

年度比101.7%)予算を達成します。

③生協10の基本ケア(※)を地域組合員と職員組合員で共有し、安心して住み続けられるまちづくりに取り組みます。在宅医療、介護の分野を拡充し、地域に暮らす多くの人に安心を届けます。2024年度にコフフ五日市診療所の駐車場を予定地として開設する、看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の準備をすすめます。

④災害や感染症のまん延時に地域と組合員の要求に応えられるよう、BCP(事業継続計画)の拡充と定着をすすめます。

⑤広島中央保健生協の理念を理解し共感する職員、生協や地域での活動参加の重要性を発信できる職員、SDH(健康の社会的決定要因)の視点を持ち無差別平等の事業活動の実践ができる職員育成に取り組むとともに、心理的安全性が高く働きがいのある職場づくりをすすめます。

⑥「けんこうチャレンジ」を多くの組合員に広げ、健康寿命の延伸に寄与するとともに、学童期への健康講座を通じて、より幅広い層で取り組む健康づくりをすすめます。

⑦「けんこうチャレンジ」を多くの組合員に広げ、健康寿命の延伸に寄与するとともに、学童期への健康講座を通じて、より幅広い層で取り組む健康づくりをすすめます。

⑧「けんこうチャレンジ」を多くの組合員に広げ、健康寿命の延伸に寄与するとともに、学童期への健康講座を通じて、より幅広い層で取り組む健康づくりをすすめます。

⑨「けんこうチャレンジ」を多くの組合員に広げ、健康寿命の延伸に寄与するとともに、学童期への健康講座を通じて、より幅広い層で取り組む健康づくりをすすめます。

3. 地域のすみずみまで、身近に感じられる医療福祉生協の安心のネットワークを広げます。

①日常の活動や事業を通じて、地域組合員と職員組合員で広島中央保健生協の魅力地域に広がります。「いのちの章典」を実践し、加入したら安心の組織づくりをすすめます。

②身近で健康づくりやまちづくりに一緒に取り組む組合員を増やすため、仲間ふやし目標は3000人とし、また「顔」の見える身近な支部」となるため、支部分割を視野に入れて新しい支部を3支部つくります。

③やりがいや生きがいを感じる活動の場としての生協の活動を地域に紹介し、身近に活動する班を新たに50班つくりまします。またともに活動する新しい担い手ふやし150人に取り組みます。

④「けんこうチャレンジ」を多くの組合員に広げ、健康寿命の延伸に寄与するとともに、学童期への健康講座を通じて、より幅広い層で取り組む健康づくりをすすめます。

⑤「けんこうチャレンジ」を多くの組合員に広げ、健康寿命の延伸に寄与するとともに、学童期への健康講座を通じて、より幅広い層で取り組む健康づくりをすすめます。

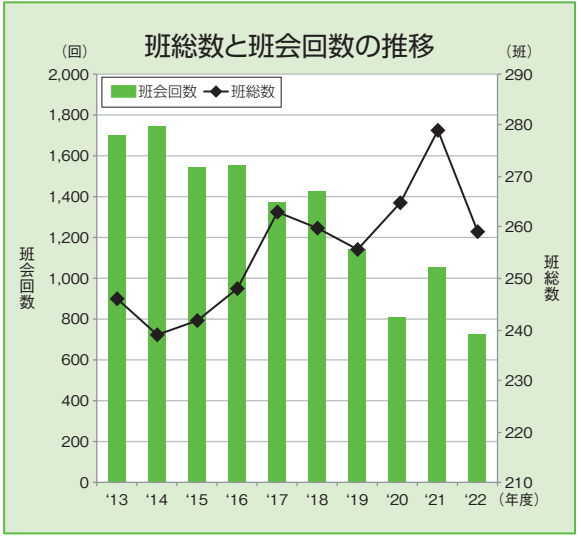
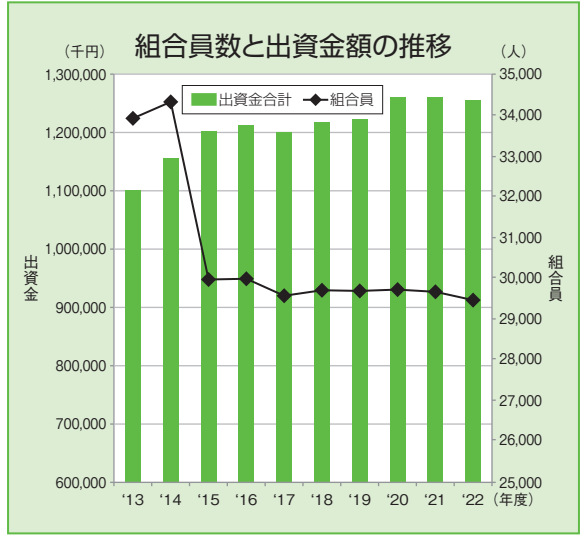
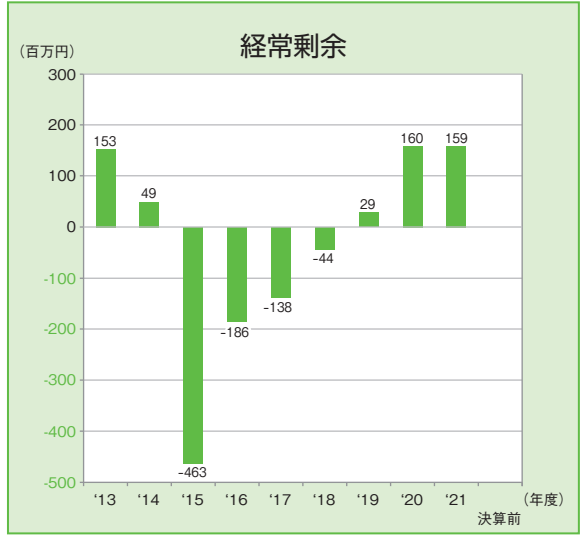
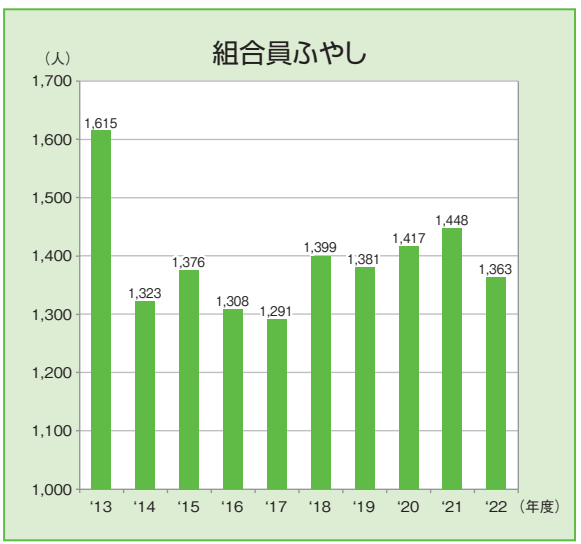
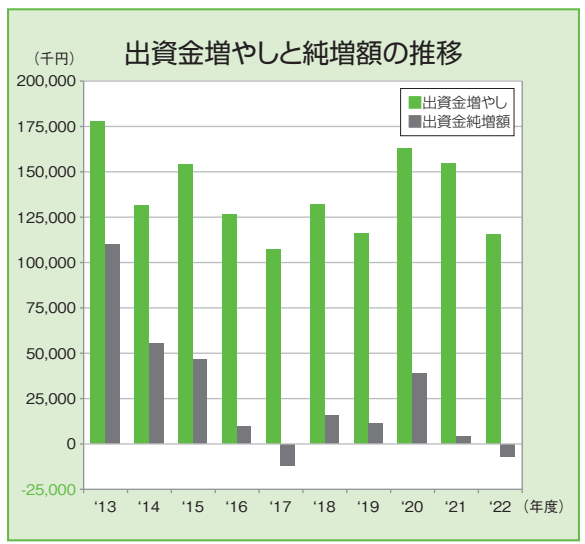
⑥「けんこうチャレンジ」を多くの組合員に広げ、健康寿命の延伸に寄与するとともに、学童期への健康講座を通じて、より幅広い層で取り組む健康づくりをすすめます。

⑦「けんこうチャレンジ」を多くの組合員に広げ、健康寿命の延伸に寄与するとともに、学童期への健康講座を通じて、より幅広い層で取り組む健康づくりをすすめます。

⑧「けんこうチャレンジ」を多くの組合員に広げ、健康寿命の延伸に寄与するとともに、学童期への健康講座を通じて、より幅広い層で取り組む健康づくりをすすめます。

【用語解説】

※「生協10の基本ケア」・社会福祉法人協同福祉会(奈良)が提唱し、尊厳を護る、自立支援ケア、生活リハビリを基本に介護の実践指標として取り入れられているもので、「①換気をすすめる」「②床に足をつけて座る」「③トイレに座る」「④あたたかい食事をすすめる」「⑤家庭浴に入る」「⑥座って会話をすすめる」「⑦町内におでかけをする」「⑧夢中になれることをすすめる」「⑨ケア会議をする」「⑩ターミナルケアをする」の10項目があります。





④ 75歳以上の医療費窓口負担2割化や、介護保険制度改正に伴う利用者負担増の影響など生の声を集め、受診抑制や利用控えが起きぬよう制度改善に向けた取り組みを強めます。

③ 引き続き、核兵器禁止条約への批准を求めます。戦争や軍備拡大に反対し、唯一の戦争被爆国、被爆地にある医療福祉生協として、核兵器の恐ろしさや被爆体験を世界に伝えます。

② 気候危機やエネルギーの問題、経済のあり方などに向き合い、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現をめざして行動します。SDGsの視点から事業と運動を見つめ直し、広島中央保健生協のSDGs宣言の作成に取り組みます。

① 日本国憲法を活かし、すべての人が尊重される公正な社会づくりに取り組みます。改憲を許さず、ジェンダー平等が貫かれた、すべての人の命と生活が守られる社会保障を求めて運動をすすめます。

2. 2022年度の活動の特徴

Table with 8 columns: 2022年度四課題, 実績, 前年度実績, 前年度差, 前年比, 目標(計画), 差, 計画比. Rows include ① 仲間ふやし(人), ② 出資金増やし(千円), etc.

※数値は2023年3月末時点のもの

1. 第6次長期計画(5年目)の運動と組織づくり
① お互いを尊重して多様性を認め合い、つながりを絶やさない取り組みをすすめました。

② 9月20日より10月末まで「いっせい訪問行動」に取り組み、組合員241名・職員261名の計502名の参加で1941件を訪問し、903名の方と対話できました。

2022年度 組合員活動日誌

Table with 3 columns: 日付, 活動内容, 参加人数. Lists various activities like 支部総会, 健康づくり委員会主催, etc.

① 長計委員会にて2030ビジョンについて話し合い、医療福祉生協連の「2030ビジョンコンテスト」に応募した結果、「平和で公正な社会づくりのビジョン賞」を受賞しました。

② 9月にISO9001マネジメント認証を取得し、全職員の経営参加の質を向上させました。

③ 地域のすみずみに、医療福祉生協の安心のネットワークを広げ、よりつながりを身近に感じる取り組みをすすめました。

④ 広島中央保健生協の理念のもと、平和と社会保障充実に向け、学び合い、語り合い、連携して行動しました。

広島中央保健生活協同組合 第7次長期計画(案)(2023年度～2027年度)

日本国憲法が活きる平和な社会を実現し、誰もが健康で居心地よくくらするまちをつくりま

第6次長期計画

(2018年度～2022年度)の到達

2020年度以降の3年間は、新型コロナウイルス感染症のまん延により、事業と運動がともに大きな影響を受けました。いのちと健康が脅かされ、家族や知人・友人とのつながりも感染の恐れから制限され、私たちの生協活動も同様に縮小を余儀なくされました。また、病院・事業所でのクラスターや、入院面会の制限等で、利用者・職員の負担が増加しました。しかし、このような前例の無い危機的状況においても、組合員・職員共に力を合わせて困難を乗り越え、事業と運動を発展させてきました。

組合員活動では、コロナ禍における「新しいつながり方」を追求、オンライン会議参加に熟達しオンライン班会がスタートしました。いっせい訪問行動やよろず相談窓口設置・ひだまり保健室スタートなど、地域の「困った」に寄り添う活動を進め、この5年間に廿日市支部をはじめとする5支部を結成しました。

事業所運営では、コロナ禍前の2年間に第6次長期計画比3%の収益増を進め、2019年度に黒字転換を果たし財務構造の改善を進めました。さらにISO9001マネジメントシステム認証を進めることで全職員参加の経営活動を前進させました。医療事業では、福島生協病院・生協ささき病院で地域ニーズに応じた病床機能の一部転換を行いました。福島生協病院では2020年度以降、複数の初期研修医の入職を進めています。介護事業では「生協10の基本ケア」を学びつつ、訪問看護ステーションコープはつかいちの開設、くさつヘルパーステーションの中央ヘルパーステーションへの統合、生協かんおん24の開設などの事業展開を旺盛に進めました。また旧福島生協病院跡地の活用について組織決定しました。

気候危機の問題が叫ばれるようになり、大きな災害が頻発するようになりました。西日本豪雨災害(2018年)・大雨土砂災害(2021年)支援を進め、BCP(事業継続計画)づくりにも着手しました。「全世代型社会保障改革ストップ」大運動で1043名からアンケート活動の結果を記者会見で発表し、「選挙に行こう実行委員会」の取り組みも進めました。

第7次長期計画をめぐる情勢と運動の柱

新型コロナウイルス感染症の収束は見込めず、新型コロナウイルス感染症対応がさらに続くと考えられます。感染症対策の大幅転換で感染者の増加が危惧されていますが、重症化しやすい慢性疾患患者や高齢者等への対応は不透明なままです。

コロナ禍を経ても病床数の削減や医療機能の集中化は続いています。広島都市圏でも2030年へ向け病院再編計画が発表され、医療を必要とする人たちに適切に提供される体制となるのか、注視する必要があります。2025年には65歳以上の高齢者が3割となり、その後も75歳以上の後期高齢者が増え続けます。一方、少子化による人口減少社会となり、保健生協にとっても事業と運動の担い手不足が予想されます。単身世帯が増加していくことも推計されています。

気候危機の進行による大災害の頻発が危惧されます。改憲や軍備拡大を進め、社会保障切り捨ての政府の姿勢を変えさせることが重要です。ジェンダー平等の運動の進展にみられるような「自分らしく生きたい」と願う国民の運動、核兵器禁止条約を成立させた平和を求める運動、格差と貧困が広がる中、社会を変えたいとの運動は広がっています。私たちの理念を実現するための運動を広げていきましょう。

第7次長計の基本理念

政府・与党が推し進めようとしている日本国憲法「改正」や軍備拡大路線は私たちの理念と一致しません。平和な社会を実現するため行動する5年間です。コロナ禍が継続する中、高齢化と単身世帯化がさらに進み、「安心づくり」と「健康づくり」で地域貢献を進める医療福祉生協の役割はますます大きくなっていきます。「広島中央保健生協の地域包括ケア構想」は第7次長計中の2025年に向けて作成したものでした。第7次長期計画では「地域包括ケア構想」をさらに発展させ、医療・介護・福祉サービスと生活支援を一体にすすめることに挑戦します。事業と運動を推進する職員の確保と育成を進め、広島中央保健生協の理念の実現をめざします。地域に必要なとされる事業と運動を協同のちからで維持・発展させ、元気な時から最期までを支え、くらしの安心と満足を高めます。求められる事業と運動の展開に必要な資金を充当できる、安定的な経営体力を構築します。

1. まちづくり

1 安心づくり

(1)「班会」や「けんこうチャレンジ」、「訪問行動」等の多様なつながりを提案し、地域のつながりを豊かにします。その中で組合員、住民の要望をつかみま

(2)多世代がつながり、集い、交流でき、困った時に頼れる場を全ての支部でつくりま

(3)多様性についての学習を通じて、性別や年齢、人種、国籍等にかかわらず、一人ひとりが地域の中で自分らしく生活できるまちづくりをすすめます。

(4)医・福の事業と、食・住の地域での協同を、連携し発展させます。誰もが必要な医療・介護・生活支援が切れ目なく提供され、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることをめざします。

(5)ちょっとした「困った」から本当に「困った」まで、様々な「困った」に対応できる助け合い活動やよろず相談活動、地域訪問活動を強化します。

(6)送迎や通院付き添いボランティアの取り組みを再構築し、地域住民の受療権の確保や安心づくりに寄与します。

(7)協同組合が行う移動店舗と連携協力し、移動健康相談や移動健康診断、移動よろず相談を行うなど、くらしの安心を実感できる取り組みを地域に広く作ります。町内会や自治会など多様な組織との連携も進めます。

2 健康づくり

(1)フレイル・オールフレイル予防、けんこうチャレンジなど、多世代が気軽に参加できる健康づくりを広げ、広島県民の健康寿命延伸に貢献します。いきいき百歳体操など、それぞれの地域の地域包括支援センターをはじめ、他団体や行政とも協同して取り組みま

(2)青空健康チェックを医科・歯科・介護の専門職と協同して、すべての支部で定期的開催し、地域住民の健康維持・健康づくりに取り組みま

(3)支部や班活動での日常的な健康チェックと定期的な健診受診の両方を、多世代にわたってすすめます。専門家と一緒に健診結果の振り返りを行い、日常の健康づくりに活かします。また、事業所へのアクセスが困難な方も健診が受けられるよう、出張健診や健診送迎など可能性を追求します

3 平和で公正な社会づくり

- (1) 人権尊重を貫く公正な社会を実現するため、様々な団体や行政との協同を広げ、より広範な人びとと連帯します。
- (2) 日本国憲法の理念に基づき国民の権利と社会保障制度、すべての人の人権と尊厳、平等を充実させていく取り組みをさらに進めます。
- (3) 被爆地ヒロシマの医療福祉生協として、核兵器の非人道性を伝え、廃絶へ向け取り組みます。
- (4) 憲法9条の平和主義を守り、戦争や武力紛争、すべての暴力に反対し、広範な人々と連帯し行動します。
- (5) 一人ひとりの生活に影響を及ぼす環境破壊に反対し、持続可能な社会をめざします。地域の要求を集めて、災害に強いまちづくりに貢献します。
- (6) 人々の多様性を尊重し、差別や不平等がなく、すべての人の人権が守られる社会をめざします。ジェンダー平等やSOGI等、多様性についての学習を地域と職場で進めます。

4 組織づくり

- (1) 「加入したら安心」「心地いいつながりがある」広島中央保健生協と言われるよう、35000人の組合員組織建設と「機関紙けんこう」手配り網を広げます。子育て世代から50歳代・60歳代など、すべての年代での生協組織建設を進めます。
- (2) 地域の組合員に目が行き届き、つながりを感じることが出来る支部運営をすすめます。組合員に身近な支部となるよう、新たな地域での支部づくりと支部分割をすすめます。2027年度には40支部をめざします。地域を活性化する担い手の確保と学習を進めます。
- (3) 地域の健康づくりに医療福祉生協の「班」が貢献します。班会への参加をきっかけに医療福祉生協への加入をすすめる、地域のつながりづくりを担います。
- (4) 仲間ふやし・班づくり・担い手ふやし・出資金増やし・積み立て増資の5課題を支部、事業所(職場)で前進させます。地域組合員の「いきがい」や「やりがい」を大切に、生協組合員活動の参加者を増やします。組合員管理システムの充実化を進め、みなし自由脱退対象者を減少させます。
- (5) 組合員システムと電子カルテシステムとの連携や各事業所にてリアルタイムで組合員確認ができる仕組み、組合員の見守り機能、他生協との組合員同士の交流など、まちづくり分野でのICT(情報通信技術)の活用をすすめます。

II. 職員の確保と育成

- 1 職員確保・少子化が進行する中、質の高い事業展開に向けて、職員確保に全力を投じます。そのため、採用計画は適切な評価・分析により組織的に行います。
- (1) 広島中央保健生協の医師採用計画に基づき、事業継続・発展の要として全職員・組合員で協力して確保へ取り組みます。
- (2) その他の職種は、広島中央保健生協の職域ごとに採用計画を立て確保へ取り組みます。
- (3) 奨学生や学生の見学や実習、面談等を通して、広島中央保健生協の魅力や採用活動につなげます。
- (4) 広島中央保健生協の事業計画に基づき、職域ごとにスペシャリストの獲得、または育成します。

2 職員育成・職責者を中心に、全ての職員の職種職能としての成長を促すとともに、医療福祉生協の一員として、確かな人権意識を育み、自分と社会との関係を自覚した主権者としての職員の成長をはかります。

- (1) 広島中央保健生協の理念のもと、自分たちの組織や部署の役割を理解し、高い倫理観と変革の視点を持った職員の育成をめざします。
- (2) HPH(健康増進活動拠点病院)やSDH(健康の社会的決定要因)の視点を持ち、事例からの学びを大切にしながら、医療・介護・福祉の実践が担える職員の育成をめざします。
- (3) 組合員と協同し地域・組織活動に意欲的に参画し、多種多様な分野で活動する人々との交流を通して、仲間の中で学び合える職員の育成をめざします。

3 学び成長し合える職場づくり・生協の理念のもと働きがいや魅力について考え、選ばれる職場づくりを進めます。日本国憲法に基づき、私たちの仕事や暮らしが継続できるように改善に取り組みます。

- (1) すべての職員が広島中央保健生協の理念を理解し、いきいきと働き続けることができる職場環境や仕組みを構築します。
- (2) 既存の事業や仕組みの問題点を可視化し、変化すること、これまでにない価値の創造ができる職場をめざします。
- (3) ジェンダー平等を基本に据え、学びあい、語りあい、支えあいたいといった良好な人間関係のもと、多様性を尊重し、いっさいのハラスメントを許さず、心理的安全性が保たれている職場をめざします。
- (4) それぞれの職場、職員が適切に評価される仕組みづくりをめざします。

III. 事業計画

1 事業の展開

- (1) 福島生協病院と生協さきき病院は、「地域の病床」として積極的に入院を受け入れ、医療機関としての責任を果たします。
- (2) 医療生協の事業所としてHPH活動を推進し、職員・患者・組合員が、健やかに生活できる環境づくりを進めます。またSDHの視点に基づき医療活動を進め、医療・介護の質向上とともに、地域の中で健康を阻害する要因を取り除く活動を広げます。
- (3) 組合員の要求に基づいて、在宅歯科診療所建設も視野に歯科の在宅部門を強化します。在宅・施設での口腔ケアが全身の健康管理に寄与し、地域での暮らしを支える一翼を担います。またコープ草津診療所・コープ五日市診療所の施設整備を含めた機能強化を進め、地域にかけがえのない存在となります。
- (4) 病院、診療所は、「かかりつけ医」機能・リハビリ機能の強化、及び地域との連携を重視した在宅部門を強化します。各事業所の地域でのポジションニングを明確にし、新型コロナウイルス感染症をはじめ、新興感染症への対応など、地域に求められる役割を果たします。
- (5) 認知症初期集中支援事業をはじめ、地域に出かける取り組みを行い、組合員の要求や地域の困っている声に心える事業の展開をめざします。
- (6) 「地域まるごと健康づくり」を支える健診事業を進め、「健康格差」の改善に取り組みます。行政・関係機関との連携により、特定健康診査やがん検診の受診促進など健康寿命の延伸に繋がる取り組みを進める等、予防から治療まで一貫した健康管理体制をつくります。また、事業所からの広報活動を積極的に進めます。
- (7) 高齢者および周術期入院患者の口腔ケアを重視します。歯科専門職の配置など医療歯科連携強化のための仕組みづくりを進めます。
- (8) 病院、医科・歯科診療所と介護が連携した事業の展開を進め、将来における新規事業の可能性を追求します。
- (9) 組合員・利用者の生活をすみずみまで支えるため、地域密着型介護事業(グループホーム、看護小規模多機能施設、定期巡回・随時対応型訪問介護看護等)を旺盛に展開します。地域密着型介護事業展開における施設建設の際には地域交流サロンを併設し、地域住民や組合員の居場所機能を高める側面からも、広島中央保健生協の中央ブロック・西部ブロック・東部ブロックそれぞれでの建設をめざします。
- (10) 介護が必要になっても自分らしく尊厳を保ち生き

続けることを可能にする「生協10の基本ケア」の考え方や実践を介護事業から発信し、生協内全事業所と組合員組織を通じて地域に広げます。

(11) ひまわり保育園の施設整備も含めた保育事業の拡充を進めます。

2 事業運営、事業継続のための整備を進めます。

- (1) ISO(国際標準化機構)9001マネジメンツシステムの取り組みを進め、事業機能、運営の質を高めて、利用者満足度の向上をめざします。
- (2) BCP(事業継続計画)の拡充と定着を進め、自然災害やサイバー攻撃による診療システムの停止時等の不測の事態に備え、事業を継続するためのシステムの構築を進めます。
- (3) 情報通信技術を活用し、医療現場の業務効率向上を図るとともにオンライン診療の検討など職員・患者にとって利用しやすい病院・事業所をめざします。
- (4) 医療情勢や、地域環境・ニーズの変化を早期に把握し、必要とされる役割や事業の展開を行います。
- (5) 生協の理念に基づき事業への信頼により、組合員の加入・増資を促進し、組合員利用率を高めます。

IV. 資金・経営計画

1 財務目標



- (1) 2027年度までに、会計上の累積赤字を2億円以内まで縮小します。
- (2) 所有する資産を有効に活かして収益増(年平均1.3%増)を進め、総資本回転率(事業収益÷総資産)を0.8回転以上とします。第7次長期計画期間中、年間平均で必要とされる5億5千万円の資金の獲得をめざします。
- (3) 出資金は年間3000万円、長期計画期間中1億5000万円の出資金の純増を目標とします。
- (4) 第7次長計終了時の2027年度末には、純資産(自己資本)比率を15%以上高め、借入金比率が45%以下となる財務構造とします。法人税支払いに対応できる足腰の強い経営体とします。

2 経営目標

- (1) 総合力と連携による事業活動の充実で収益増をすすめる、全事業所の黒字化を果たします。
- (2) ISO9001マネジメンツシステムを活かし、全職員の経営参加のもと、PDCA(計画Plan↓実行do↓評価check↓改善action)による経営管理を実践します。
- (3) 患者・利用者の組合員利用率を高め、組合員参加による事業運営で事業の質を向上させます。

診療のごあんない

2023年4月現在です。
急な医師の交代で変更もあり得ますので、ご了承ください。
※前回から変更している部分は網掛けで表示しています。 (2023年5月から)

			受付時間		月	火	水	木	金	土		
 <p>福島生協病院 082-292-3171 (健診センター: 082-292-3215)</p> <p>診療体制は変更となる場合がございます。事前にお問い合わせください。</p> <p>内科専門外来診療予約ご希望の方へ 初診時は一般外来(初再診外来)をご利用いただき 専門外来予約希望の旨、担当医師にご相談ください。</p>		<p>8:30~11:45 診察は9:00~ (予約は8:30~12:00) 診察は9:00~</p>	内科	橋本 神尾 池本 田中(干) 高岡(予約) 多比良(予約) 保手浜(予約)	柴田(英) 三善 橋本 松原 高岡(予約) 多比良(予約) 飯田(予約)	柴田(英) 橋本 神尾 田中(干) 高岡(予約) 大津(予約) 藤原(予約) 山脇(予約)	神尾 浜本 池本 大津(予約) 高岡(予約) 多比良(予約) 藤原(予約)	保手浜 神尾 柴田(佳) 田中(干) 大津(予約) 多比良(予約) 山脇(予約)	直江(第1・3・5週) 交替(第2・4週) 大学 交替(予約)			
			午前	8:30~11:00	健診 婦人科(健診のみ)	杉原・田代 大学(完全予約制)	杉原・佐藤	杉原・田中(貴)	杉原・佐々木	北口・田代 大学(完全予約制)	伊藤・石田(第1・3・5週) 田中(貴)(第2・4週)	
			8:30~11:45 診察は9:00~	外科	大森 宮庄 長谷川 杉本(予約)	田代 原田 杉本	前田 宮庄 長谷川	北口 原田 有村 杉本(予約)	前田 大森 有村 長谷川(予約)	交替 9:30~受付 10:00~診察 交替(第2・3週) 9:30~診察		
			※耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科 急な休診の可能性あり。事前にお問い合わせください。	眼科	高松 大学	高松	高松	高松	高松 大学	大学	大学	
			耳鼻咽喉科※ 皮膚科※ 泌尿器科※	10:00~診察大学	10:00~診察大学	10:00~診察大学	10:00~診察大学	10:00~診察大学	大学	大学		
			午後	13:30~16:30 診察は14:00~	内科	多比良(予約) 飯田(予約) 山脇(予約)	大津(予約) 保手浜(予約) 山脇(予約)	山脇(予約)	神尾 藤原(予約) 叶(予約)	橋本 高岡(ペースメーカー) 多比良(予約) 山脇(予約)		
			13:45~16:00 診察は14:00~	外科 肛門科 眼科	高松			原田 田代	高松			
			夜間	16:30~18:00 診察は17:00~	内科				藤原(予約・不定期)			
			<p>生協小児科ひろしま 082-532-1260</p> <p>休診日・受付時間が変更になる場合があります。 小児科ホームページをご覧ください。</p>	午前	8:30~11:30		北村 泉	北村	北村	北村	北村	12:00まで受付 北村(第2週休診)
				午後	13:00~14:00			予防接種(予約制)	予防接種(予約制)	乳児健診(完全予約制)	予防接種(予約制)	
14:30~16:30		北村		北村	北村(第4は休診)	北村	北村					
<p>生協歯科ひろしま 082-291-1333</p> <p>予約制です。痛み等ある場合はご相談ください。</p> <p>休診日・受付時間、及び歯科医師体制は変更される場合があります。</p> <p>4月より夜間診療が火曜日・木曜日のみとなりました。</p>	午前	月・水・金・土 8:30~12:30 火・木 8:30~11:30		今川 高橋 松井 平岡 高浜	高橋 平岡 松井 高浜	今川 高橋 高浜(第2・4) 松井(第2・4) 山本(第4)	今川 山本 高浜(月2回) 平岡	今川(月2回) 高橋(月2回) 山本 松井 高浜(月2回)	交替 (12:30まで) 第5土曜日は休診			
	午後	月・水・金・土 14:00~16:30 火・木 11:30~16:30		今川 高橋 山本(月2回) 松井(月2回) 高浜	今川 高橋 山本 高浜	高浜(第2・4) 松井(第2・4) 山本(第4) 第1・3・5は休診	今川 高橋 高浜(月2回) 平岡	今川(月2回) 高橋(月2回) 山本 松井 高浜(月2回)	交替 (14:00~) 第5土曜日は休診			
	夜間	16:30~19:30			今川 山本 高浜			高橋 松井 平岡				
	<p>生協さえき病院 082-926-4511</p>	午前	9:00~12:00	内科 内科(予約) 健診 整形外科	大学 沼本 福山 渡辺 三好 高内	荒井 河口 重本 伊藤 南方 三好 伊藤(予約)	山科 黒川 重本 佐藤 瀬分	叶 佐藤 根本 三好	高内 大学 福山 荒井 佐藤 三好	高内 交替 交替10:30まで		
午後		14:00~17:00	内科									
夜間		17:00~19:00	内科					福山(予約)				
<p>生協さえき歯科 082-926-1148</p> <p>予約制</p> <p>※土曜日は交替制です。</p>		午前	8:30~11:30 水曜は11:00まで		星 保子 末井	星 保子 福井	星 保子 福井	星 福井	保子 福井 末井	星 保子 末井 福井		
	午後	13:30~17:00 火・金曜は18:30まで 水曜は14:00~※第4水曜日休診 ※第3水曜日が休診になる場合もあります。お問い合わせください。		星 福井 末井	17:00まで星 18:30まで保子 17:00まで福井	星 末井	星 末井	17:00まで保子 18:30まで星 17:00まで末井 17:00~18:30福井				
<p>コープ五日市診療所 082-924-0608</p>	午前	9:00~12:00	内科	佐々木	長谷	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木(第1・3週休診)			
	午後	15:00~16:30	内科		佐々木	佐々木						
	夜間	17:00~18:30	内科	佐々木				佐々木				
<p>コープ草津診療所 082-272-8665</p>	午前	9:00~12:00	内科	世戸(寛)	福山	世戸(寛)	福山	世戸(寛)	第2・4週のみ 診療 八田			
	午後	14:00~17:00	内科	世戸(寛)		世戸(寛)		世戸(寛)				
	夜間	17:00~18:00	内科		福山							

医師コラム

コープ五日市診療所 佐々木 敏哉

コロナ感染拡大を受け、2022年4月総務省は「地域医療構想」は病院統廃合ありきではないと軌道修正をしました。しかし、統廃合の対象として名指した約424の公立・公的病院のリストは撤回しておらず、消費税を使って補助金をだす「病床削減給付金」の仕組みは残っています。

広島県ではこれまで、「地域医療構想」の実施として、三原赤十字病院と三菱三原病院が統合、また広島県圏域北部では広島市立北部医療センター安佐市民病院が開院し、医療機関の再編統合が進んでいます。そして、広島県は2022年3月に「高度医療・人材育成拠点ビジョン」にもとづき、2022年11月に「高度医療・人材育成拠点基本構想」を発表しました。この構想の眼目は広島都市圏の8病院を再編して、県域南部に1,000床規模の病院を建設することです。その目的は、高度医療を提供するために病床機能を再編し、新興感染症に対応することとしています。その後、関係する医療機関と県幹部が新病院の機能や各病院の役割を詰める「高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議」が進められています。県は病院建設を前提として跡地利用に住民懇談会を予定し、住民の声を反映するとしています。

県医師会は「急患を受け入れる複数の病院が分散し、非効率であるため、救急医療を改革する必要がある」「新病院で育てた若手医師を医師不足の地域に派遣する役割を担う」として新病院構想を推進する立場を表明しています。

影響を受ける医療機関の内部からは「急性期を手放せば経営に影響を受ける」「頼ってくれる患者がいるし職員への責任もある」など困惑もあります。

病院が移転する地域住民は「病院がなくなると困る」「移転するにしても病院機能は残してほしい」など戸惑いや不安があり、実際構想撤回を求める住民運動も起こっています。

新病院建設は、「地域の急性期受け入れの弱体化を招かないか」「医師不足を偏在対策で解消できるのか」など解決しなければいけない問題もあります。

子育て応援企画

天使の音色に癒されました♪

3月18日(土)、第18回子育て応援企画「おやこで体験 ライアーコンサート」を開催しました。参加者は47名でした。



当日は、観音中学校の放送部の生徒さん3名がボランティアとして参加し、受付と絵本の読み語りをしてくださいました。絵本を読みながら体を動かしたり、子どもたちが飽きないように工夫がされており、とても楽しそうでした。

そのあとは、ライアー奏者の宇月彩さんによるコンサートを行いました。「いつも何度でも」や「春が来た」などの素敵な曲を披露していただきました。実際に子どもたちがライアーの演奏を体験しました。見慣れない楽器に最初は戸惑っていた子どもたちでしたが、慣れるとボランティアの生徒さんと一緒に楽しんでいました。保護者の方には、「子育てしていると演奏会に行く機会がなかなかないので、このようなイベントを開催していただいていたがたいです」「癒されるのでまたお願いしたいです!」



などの素敵な感想がありました。

次回もみなさんに楽しんでいただけるような企画を開催したいです。

生協の安心ネットワーク

介護事業所一覧

○在宅介護支援事業所

- ★広島中央保健生協在宅介護支援事業所 TEL 082-292-0852
- ★コープ五日市在宅介護支援事業所 TEL 082-942-6923

○訪問看護ステーション

- ★訪問看護ステーション生協コスモス TEL 082-532-1375
- ★訪問看護ステーション草津かもめ TEL 082-507-7015
- ★訪問看護ステーションコープ五日市 TEL 082-924-0626
- ★訪問看護ステーションコープはつかいち TEL 0829-50-0207

○定期巡回・随時対応型訪問介護看護/夜間対応型訪問介護

- ★生協かんおん24
- ★生協かんおん夜間対応ヘルパーステーション TEL 082-563-8391
- ★生協くさつ24
- ★生協くさつ夜間対応ヘルパーステーション TEL 082-507-1222

○訪問介護

- ★広島中央保健生協ヘルパーステーション TEL 082-532-1256
- ★コープ五日市ヘルパーステーション TEL 082-943-4631

相談窓口

- ★よろず相談 TEL 082-553-9578

子育て広場 コープ 6月の予定

のびのびくらぶ

日時 毎週水曜日10時~12時 場所 生協けんこうプラザ5階

6月 「のびのび」行事

※企画内容は都合により変更となる場合があります。

第1週 7日 わくわく絵本の世界 第2週 14日 こどもの歯について

第3週 21日 英語であそぼう 第4週 28日 無添加虫よけスプレー作り

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては中止とさせていただきますのでご了承ください。

子育て広場 コープ ぴよぴよくらぶ

日時 6月23日(金) 13時30分~15時 ※毎月第4金曜日

場所 生協けんこうプラザ5階

お持ち帰りも可能になりました。できれば予約をお願いします。

掲示板

広島中央保健生活協同組合

子ども食堂 生協わくわくぱーてぃー

【日にち】6月10日(土)

【時間】11時30分~12時30分

【場所】観音公民館 (開催場所が変更になっておりますのでご注意ください)

※開催場所が変更になる場合がございますので、詳細はお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染症対策の観点から食事のみの提供とし、時間を短縮して開催しております。感染状況によっては中止となる場合がございますので詳細はお問い合わせください。

※午前7時の時点で警報が出ている場合は、中止とさせていただきます。

※アレルギー対応はしておりませんので、ご了承ください。

調理・あそびボランティアさん 大募集中!!

お米・野菜等食材のご提供もお待ちしております(^^) お申し込みは☎082-532-1264(組合員活動推進課)まで

生協LINE@



脳いきいきクイズ

4月号の答え

(①青息吐息 安心立命 ②一期一会 一衣帯水) でした。

組合員の輪

いざというときに困らない救急対応編 ～西区西支部～

3月24日(金)、草津東集会所でまなび班を開催しました。今回は広島西消防署の藤谷智さんを講師に14名の参加者で救急対応について学びました。

応急処置や救急要請についての注意点などをお話していただき、その後は胸部圧迫とAEDの使用方法について説明をしていただきました。AEDには小児用と大人用があること、小学生以上は大人用を使用することなど、初めて知ることもあり、大変勉強になりました。

「いざというときに動けるかどうか不安」「周りに指示ならできるかも」といった感想もありましたが、定期的に学習することで自信をつけ、迷わず行動できるようになれればいいと思います。



公民館フェスティバルで86名の健康チェックを開催 ～中区北支部～

3月4日(土)、5日(日)に中央公民館で4年ぶりの公民館フェスティバルが開催されました。中区北支部では、例年出し物として「健康チェック」と「コーヒー販売」をしています。感染対策のため、今年は「健康チェック」のみ行いました。

1日目は35名、2日目は51名の参加がありました。参加された方々に、生協のパンフレットを案内しながら、日頃取り組んでいることについて説明させていただきました。

その中のお一人から「他にもこういう集まりがあるならぜひ参加したい!」と加入へつながり、毎月けんこうを届けることになりました。2日間、たくさんの方と交流ができ楽しい時間になりました。今後も地域での活動を増やしつつなごりづくりができればいいなと思います。



地方自治・住民自治を考える

～「広島市政白書」から自治体のいまを考える～

3月24日(金)、理事会社保・平和委員会主催の公開学習講座をけんこうプラザ5階で、組合員、職員あわせ17名の参加で開催しました。講師に「広島市政白書」を刊行している広島自治体問題研究所事務局長の橋本和正さんを迎え、広島市総合計画の基本構想を紐ときながら、子ども医療費助成制度の拡充や学校給食費の完全無償化をめざす運動、放課後児童クラブの有料化問題や中央図書館移転問題など広島市の現状をわかりやすく解説していただきました。

参加された組合員さんから「生活に直結している地方自治について考えるよいテーマでした」「基本構想から、住民のくらしが欠落したことがよくわかりました」「二葉山トンネルの問題などをもっと聞きたかった」などの感想が寄せられました。



おたより募集

川柳、俳句、短歌

7月号の川柳のお題は「日傘」(締め切りは5月20日)です。自由演題でも結構です。その他、「私の家族(ペット)」「私のとっておきの一枚」「コロナに負けない!私のストレス解消法」を募集しています。写真と簡単な紹介文を編集部までお送りください。

宛先 733-0031 広島市西区観音町16-19-4F
広島中央保健生協 組合員活動推進課 けんこう編集係
E-mail:soshikibu@hch.coop FAX(082)-532-1267

雨にもマケズ最後の(?)フリーマーケット! ～五日市支部～

3月26日(日)、1週間前から、天気予報とにらめっこしていましたが、前日夜から雨は降り出し、準備集合の8時には雨は上がっていませんでした。

しかし、「始まる10時までには大丈夫よ!上がる!」の声掛けに小雨の中準備開始。テントを張り、焼き芋のための火起こしが一番。なんとか10時頃には雨も上がりました。一斉に店開きとともに「やったのね」「お久しぶり」と近所の方がちらほら。

五月が丘支部、新日本婦人の会からも参加があり賑やかなフリーマーケットとなりました。

焼き芋はホクホクで焼いている端から売れていきます。

何度も色々な行事を行ってきたコープ五日市診療所の駐車場ですが、2024年は、次の事業展開の場所に様変わりします。みなさんお楽しみにしておいてください。



地域支部組合員のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症対応方針(3/20以降)より

- ◎当事業所の施設内はマスク着用をお願いします。
- ◎活動している空間の換気に注意してください。
- ◎生協から特段の自粛要請は行いません。

俳句・山柳

へお題:母の日

●母の日に 父と連れ添い温泉に
／熊のプーさん

●母の思い 親の年越え 今分る
／ゆめ

●父の日は とてもかなわぬ 母の日よ
／大根草

●仕方ない 鏡の顔は 母似です
TOKIKO

●毎日が 母の日でしょと 子が笑う
／スイートピー

●自由句

●脱マスク 鏡に映る らぢみ皺
／百合

お知らせ 選考を円滑に行うため、投稿数は一人5句までとさせていただきます。

*採用された方には図書カードをプレゼントします。ぜひご住所をお知らせくださいませ。 広報委員会

理事会より(2023年3月理事会報告)

- 2月度損益結果は、福島・さえき両病院の入院ベッド稼働率が極めて高く、入院収益が予算を大幅に超過達成したことが主要因で635万円の黒字となり、経常利益予算を2,562万円超過達成しました。生協小児科は発熱患者やインフルエンザの検査が多かったこともあり4カ月連続の黒字となり、黒字決算も見込めるような状況となりました。
- 1月の理事会から検討を進めていた「2023年度重点課題(案)」「第7次長期計画(案)」について、「けんこう」5月号掲載分を確認しました。
- 3月31日よりおよそ1年間、旧福島生協病院の解体工事を行います。ご不便やご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。